

令和8年5月15日

千葉県農林総合研究センター長

## I 向こう1か月間の予報

発生量及び発生時期は平年との比較で表す。予想発生量は「多」「やや多」「並」「やや少」「少」で表している。予報の根拠の(+)は多発要因、(-)は少発要因であることを示す。また、【 】内の数値は左側が4月下旬～5月上旬の発生予察調査のデータ、右側が平年値(過去10年の平均値)を示す。

なお、「並」とは平年値を中心にして40%の度数に入る幅、「やや多」「やや少」は「並」の外側20%の度数に入る幅、「多」「少」は上記3者の外側10%の度数に入る幅である。

また、下表の病害虫を防除する場合は、「千葉県総合防除計画」の該当ページ(※)の「総合防除の内容」を参照するとともに、2ページの「2 個々の病害虫に関する防除上の注意事項」も参考とすること。



### 千葉県総合防除計画(令和6年3月版)

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠 (4月下旬～5月上旬の発生予察結果及び気象予報等)	※
イネ	いもち病 (葉いもち)	並	苗発病度：並【0.00/0.00】 気象予報：気温高(-) 降水量並か多(+) 日照時間並か少(+)	17
	ばか苗病	やや多	苗発病度：やや多【1.37/0.94】(+)	18
	イネミズゾウムシ	やや少	成虫寄生株率：並【1.37%/1.96%】 4月予察灯誘殺数：少【0.0頭/22.9頭】(-)	19
	イネドロオイムシ	少	成幼虫蛹寄生株率：やや少【0.00%/0.16%】(-) 雑草地すくい取り捕獲成虫数：少【0.07頭/0.22頭】(-) 気象予報：気温高(-) 降水量並か多(+)	19
	スクミリングガイ(ジャンボタニシ)	やや多	1㎡当たり貝数：やや多【0.57頭/0.28頭】(+) 気象予報：気温高(+)	19
	ヒメトビウンカ	並	雑草地すくい取り捕獲成虫数：並【0.00頭/0.01頭】 気象予報：気温高(+)	21
	イネクロカメムシ	やや少	2月畦畔0.25㎡土壌中成虫数： やや少【0.00頭/0.04頭】(-) 4月予察灯誘殺数：やや少【0.0頭/0.9頭】(-)	-

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠 (4月下旬～5月上旬の発生予察結果及び気象予報等)	※
スイカ(トンネル)	つる枯病	並	発病葉率：並【0.00%/0.00%】 気象予報：気温高(+) 降水量並か多(+)	-
	うどんこ病	並	発病葉率：並【0.00%/0.04%】 気象予報：日照時間並か少(-)	-
	菌核病	並	発病茎率：並【0.00%/0.00%】 気象予報：気温高(-) 降水量並か多(+)	-
	アブラムシ類	並	寄生葉率：並【1.00%/0.86%】 気象予報：気温高(+) 降水量並か多(-)	41
	ハダニ類	やや少	寄生葉率：やや少【0.00%/0.66%】(-) 気象予報：気温高(+) 降水量並か多(-)	-
スイカ(ハウス)	つる枯病	並	発病葉率：並【0.00%/0.00%】 気象予報：気温高(+) 降水量並か多(+)	-
	うどんこ病	やや多	発病葉率：やや多【1.40%/0.88%】(+) 気象予報：日照時間並か少(-)	-
	菌核病	並	発病茎率：並【0.20%/2.10%】 気象予報：気温高(-) 降水量並か多(+)	-
	ハダニ類	並	寄生葉率：やや少【0.80%/2.04%】(-) 気象予報：気温高(+) 降水量並か多(-)	
ナシ	黒星病	並	発病葉率：並【0.00%/0.01%】 発病果率：やや少【0.00%/0.18%】(-) 気象予報：降水量並か多(+)	24
	アブラムシ類	やや少	寄生新梢率：やや少【0.12%/1.11%】(-) 気象予報：気温高(+) 降水量並か多(-)	24
	果樹カメムシ類	やや多	4月フェロモントラップ誘殺数：並【0.77頭/1.38頭】 気象予報：気温高(+)	28
温州ミカン	そうか病	多	発病葉率：多【3.60%/0.44%】(+) 気象予報：気温高(+) 降水量並か多(+)	26
	ミカンハダニ	やや多	成虫寄生葉率：並【1.40%/7.56%】 気象予報：気温高(+) 降水量並か多(-)	28
ビワ	灰斑病	やや少	発病葉率：少【0.00%/2.63%】(-) 気象予報：気温高(+) 降水量並か多(+)	-
	果樹カメムシ類	並	4月フェロモントラップ誘殺数：並【0.77頭/1.38頭】 気象予報：気温高(+)	28

\* 1 予察灯誘殺数：1か月30日当たりの誘殺数

\* 2 フェロモントラップ誘殺数：1日当たりの誘殺数

## 1 防除に関する措置（共通）

- (1) 病害虫は早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。
- (2) 発病株及び罹病部位は、ほ場外へ持ち出し適切に処分する。
- (3) 害虫の薬剤抵抗性の発達や耐性菌の発生を防ぐため、同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
- (4) 病害虫の発生を予防するため、温湿度管理、防虫網の設置、周辺雑草の除草、輪作や緑肥作物の栽培等の耕種的防除及び物理的防除に努める。

## 2 個々の病害虫に関する防除上の注意事項

- (1) ばか苗病（イネ）

千葉県 HP、生産振興課の生産者向け情報「イネばか苗病ゼロに御協力お願いします」も参照する



- (2) スクミリンゴガイ（イネ）

田植後間もないイネが被害を受けやすいので、5月上旬以降の遅植えて、本貝の発生がみられるほ場では特に注意する。

千葉県 HP、環境農業推進課の「ジャンボタニシ被害防止対策」も参照する。



- (3) うどんこ病（スイカ）

令和6年度病害虫発生予報第1号P3「これから注意を要する病害虫」も参照する。



- (4) そうか病（温州ミカン）

多肥を避け、適切な時期に施肥を行う。罹病葉は切除して、園外で適切に処分する。令和8年版農作物病害虫雑草防除指針も参照する。



- (5) ミカンハダニ（温州ミカン）

ほ場の見回りによる早期発見に努め、発生初期に防除する。令和8年版農作物病害虫雑草防除指針も参照する。



- (6) 果樹カメムシ類（ナシ）

令和6年度病害虫発生予報注意報第1号

「果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）越冬後成虫多発生のおそれ」も参照する。



## Ⅱ これから注意を要する病害虫

### ナシヒメシンクイ

ナシヒメシンクイは、ナシの主要害虫であり、年間に複数回発生する。幼虫が果実内に侵入し、果肉を加害することで商品価値を著しく低下させる。特に第2世代以降は果実肥大期と重なるため、被害が顕著となり、落果や品質低下を引き起こす。被害は外観から判別しにくい場合もあり、出荷後のクレームにつながる恐れがある。

フェロモントラップ調査におけるナシヒメシンクイ越冬世代成虫の発生ピークは、白井市、印西市では4月第2半旬（図1、図2）、四街道市では4月第1半旬（図3）である。

越冬世代の発生ピークを起点とし、発育零点（11.1℃）と有効積算温度（384日度）から第1世代成虫の発生ピークを予測すると、白井市、印西市は6月第1半旬、四街道市は5月第6半旬となる（白井市はアメダスデータ我孫子から、印西市、四街道市はアメダスデータ佐倉から算出）。また、第2世代幼虫の防除適期は第1世代成虫の発生ピークより7～9日後とされているため、いずれの地点とも6月第2半旬から第3半旬頃と予想される。

近年、ナシヒメシンクイの越冬成虫の発生ピークが早まる傾向であり、果実への被害も見られるため、適期に防除を行い、被害を抑えることが重要である。

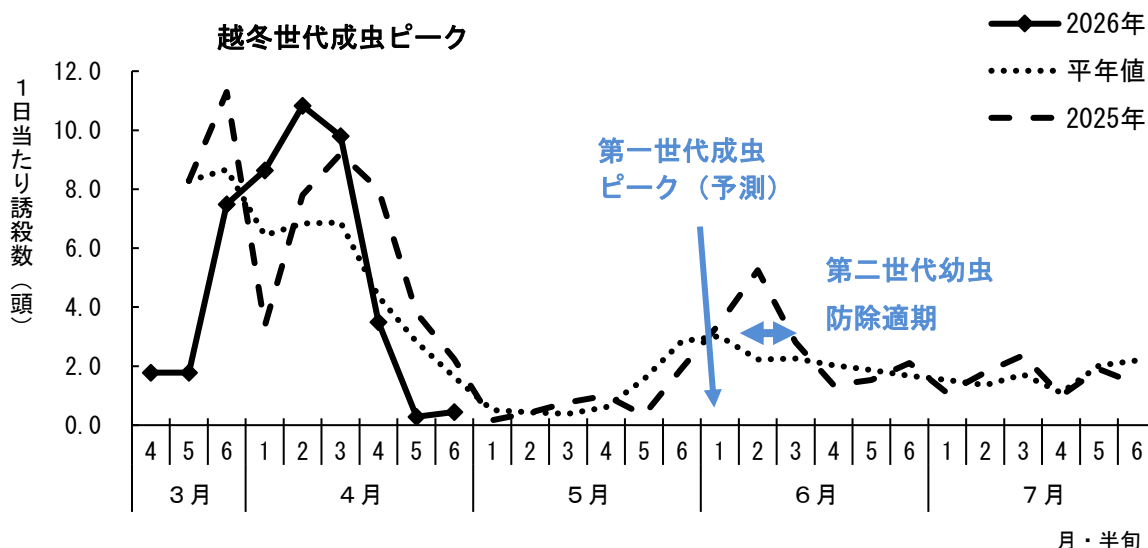


図1 ナシヒメシンクイフェロモントラップの誘殺数（白井市）

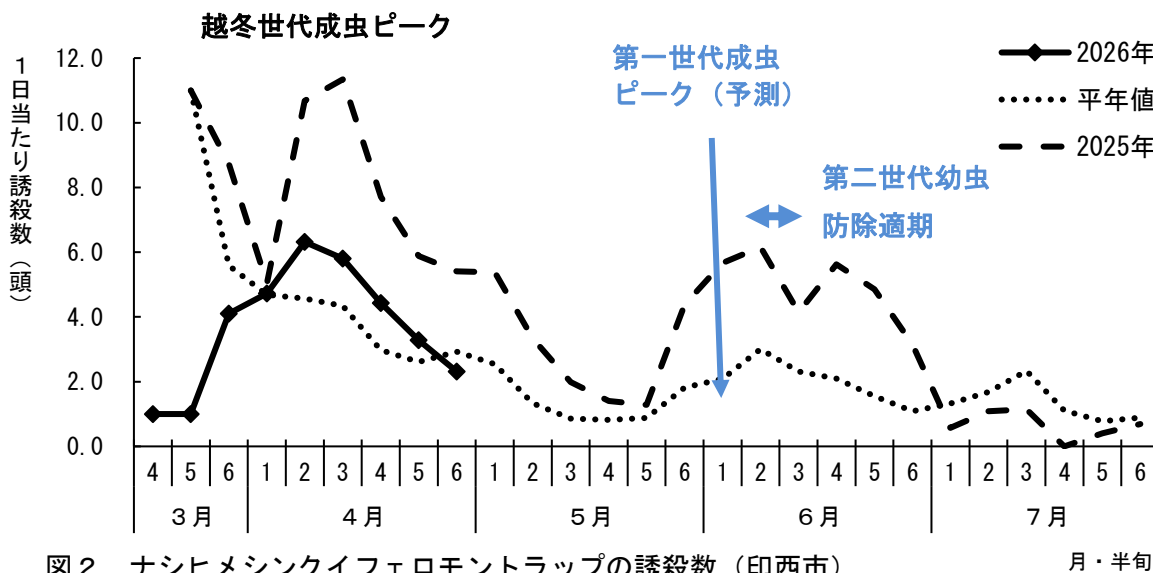


図2 ナシヒメシンクイフェロモントラップの誘殺数（印西市）

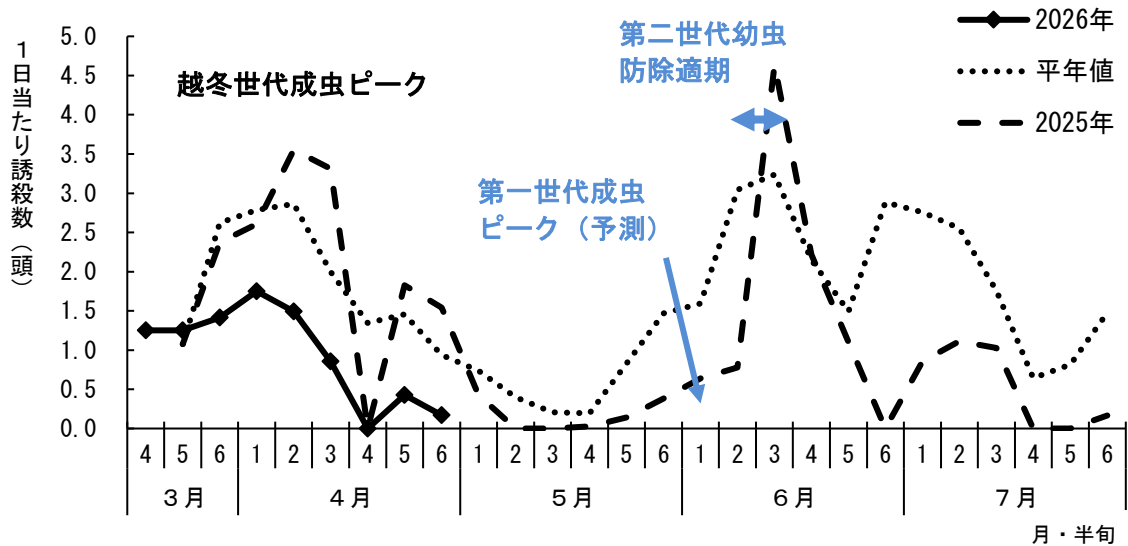


図3 ナシヒメシンクイフェロモントラップの誘殺数（四街道市）

<防除対策>

- (1) 新梢の芯折れや被害果は早期に除去し、ほ場外に持ち出し適切に処分する。
- (2) 5月に引き続き、7月上旬にもフェロモン剤を設置する（5月に基準使用量を設置している場合は除く）。
- (3) 以下の表を参考に、適切に防除する。

表 ナシにおけるシンクイムシ類の防除（令和8年5月13日現在）

時期	IRACコード※1	薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数
5月下旬	4 A	モスピラン顆粒水溶剤※2	2,000~4,000倍	収穫前日まで	3回以内
6月上旬	2 8	エクシレルSE	2,500~5,000倍	収穫前日まで	3回以内
6月下旬	2 8	テッパン液剤	2,000倍	収穫前日まで	2回以内
7月上旬	4 A	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内
7月中旬	2 8	サムコルフロアブル10	2,500~5,000倍	収穫前日まで	3回以内
8月中旬	3 A	ロディー水和剤	1,000~1,500倍	収穫前日まで	2回以内

※1 IRACコードとは、殺虫剤の作用の仕組みの分類を表すものである。薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一コードの薬剤を連用しない。

※2 モスピラン顆粒水溶剤は、新高、長十郎の展開葉に薬害を生じる恐れがあるので注意する。

※3 薬剤名が異なっても同じ成分を含む薬剤があるので、散布前に確認し、同じ成分がある場合、合計使用回数が制限を超えないように注意する。

注 農薬の使用に当たっては、最新の農薬登録情報を確認し、製品ラベルに記載された使用基準等を守り適正に使用する。

### Ⅲ 参考資料

#### ○主要病害虫の発生状況

巡回調査結果（水稲：4月中旬～5月上旬、スイカ：5月上旬、果樹：4月下旬、果樹カメムシ類：5月上旬）

作物名 (調査地域)	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			本年値	平年値	前年値	
イネ (県内全域)	いもち病	苗の発病度	0.00	0.00	0.00	
		もみ枯細菌病	0.25	0.29	0.54	
		苗立枯病	0.28	0.52	1.22	
	ばか苗病	苗の発病度	1.37	0.94	2.03	
		イネミズゾウムシ	成虫寄生株率(%)	1.37	1.96	
	イネゾウムシ	雑草地すくい取り成虫数	0.37	0.50	0.31	
		成虫寄生株率(%)	0.00	0.08	0.12	
		被害株率(%)	0.12	0.62	1.47	
	イネドロオウムシ	成幼虫蛹寄生株率(%)	0.00	0.16	0.18	
		雑草地すくい取り成虫数	0.07	0.22	0.09	
	スクミリンゴガイ	1㎡当たり個体数	0.57	0.28	0.65	
		被害株率(%)	0.06	0.56	1.59	
	ヒメトビウンカ	畦畔3㎡吸い取り成幼虫数	1.13	1.96	0.21	
雑草地すくい取り成幼虫数		0.00	0.01	0.04		
イネクロカメムシ	畦畔0.25㎡越冬成虫数	0.00	0.04	0.00	2月調査	
	トンネルスイカ (山武・印旛)	つる枯病	0.00	0.00	0.00	
うどんこ病	0.00	0.04	0.00			
菌核病	0.00	0.00	0.00			
アブラムシ類	成幼虫寄生葉率(%)	1.00	0.86	1.20		
ハダニ類	成虫寄生葉率(%)	0.00	0.66	1.00		
ハウススイカ (山武・印旛)	つる枯病	0.00	0.00	0.00		
	うどんこ病	1.40	0.88	0.40		
	菌核病	0.20	2.10	0.00		
	アブラムシ類	成幼虫寄生葉率(%)	0.00	0.72		0.40
	ハダニ類	成虫寄生葉率(%)	0.80	2.04		1.40
ナシ (県内全域)	黒星病	発病葉率(%)	0.00	0.01	0.03	
	赤星病	発病果率(%)	0.00	0.18	0.00	
		発病葉率(%)	0.00	0.02	0.00	
	ハマキムシ類	被害葉率(%)	0.00	0.04	0.00	
	ハダニ類	成虫寄生葉率(%)	0.00	0.00	0.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生新梢率(%)	0.12	1.11	0.55	
温州ミカン (安房)	そうか病	発病葉率(%)	3.60	0.44	2.00	
	かいよう病	発病葉率(%)	0.00	0.10	0.00	
	ミカンハダニ	成虫寄生葉率(%)	1.40	7.56	13.80	
	ミカンハモグリガ	幼虫寄生葉率(%)	0.00	0.00	0.00	
ビワ (安房)	灰斑病	発病葉率(%)	0.00	2.63	1.25	
	アブラムシ類	成幼虫寄生葉率(%)	0.00	0.00	0.00	
	カミキリムシ類	被害穴数	0.00	0.05	0.00	
果樹共通	果樹カメムシ類(安房)	桜樹払い落とし虫数	1.86	0.95	0.81	頭/網

#### トラップ月間誘殺数(4月) \*種類別の単位の違いに注意

種類	病害虫名	トラップ設置場所	誘殺数(*)			備考
			本年値	平年値	前年値	
水稲予察灯	イネミズゾウムシ	千葉	0.0	49.4	4.0	頭/30日
		香取	0.0	3.1	0.0	
		安房	0.0	22.6	0.0	
	イネクロカメムシ	千葉	0.0	2.8	0.0	
		香取	0.0	0.0	0.0	
		安房	0.0	0.2	0.0	
性フェロモン	コナガ	海匝	2.53	2.71	4.05	頭/日
	ハスモンヨトウ	県内全域	3.77	0.81	0.90	
	シロイチモジヨトウ	県内全域	0.64	0.11	0.61	
	オオタバコガ	県内全域	0.55	0.35	0.31	
	タバコガ	県内全域	0.02	0.03	0.02	
	ナシヒメシンクイ	東葛飾、印旛	3.82	3.31	3.84	
	モモシンクイガ	東葛飾、印旛	0.00	0.00	0.00	
	チャハマキ	東葛飾、印旛	2.23	1.35	1.60	
	チャノコカクモンハマキ	東葛飾、印旛	2.42	1.39	1.99	
チャバネアオカメムシ 集合フェロモン	チャバネアオカメムシ	県内全域	0.64	1.16	0.81	頭/日
	ツヤアオカメムシ	〃	0.12	0.19	0.04	
	クサギカメムシ	〃	0.01	0.07	0.03	
	マルボシヒラタヤドリバエ(天敵)	〃	0.24	0.28	0.10	

## ○気象予報

5月14日気象庁発表

関東甲信地方における向こう1か月間の確率(%)

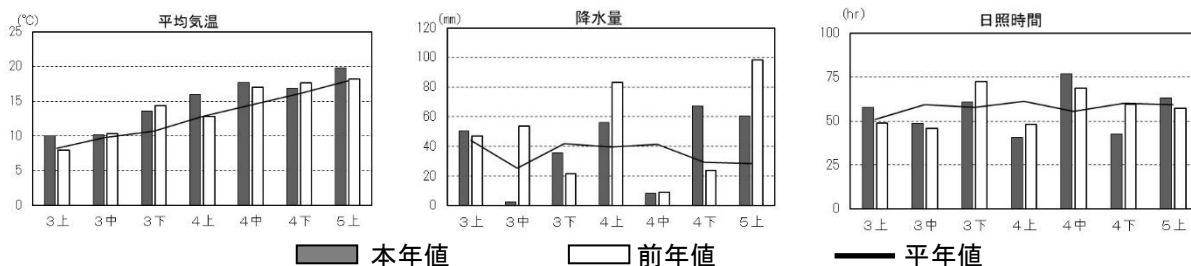
要素	低い・少ない	平年並	高い・多い
気温	10	10	80
降水量	20	40	40
日照時間	40	40	20

向こう1か月間の各気象要素の平年値

(5月16日～6月15日)

要素	千葉	銚子	館山
気温(°C)	20.4	18.8	20.0
降水量(mm)	139.6	154.9	180.8
日照時間(hr)	165.1	180.3	171.8

出典：気象庁ホームページ



## 農薬は適正に使用しましょう。無登録農薬の使用はできません。

- 農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍数、収穫前日数、総使用回数などが定められています。
- 登録番号のない薬剤は、農薬として使用できません。登録農薬には必ず登録番号が記載されています（記載例 農林水産省登録第〇〇〇号）。
- 農薬はラベルをよく読んで適正に使用しましょう。
- 飛散しないよう工夫して散布しましょう。
- 農薬を散布したら必ず記帳するようにしましょう。
- タンクやホースは洗いもれがないようきれいに洗っておきましょう。

・病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。  
メールの配信サービスも実施しています（要事前登録）

<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>

・次回の発行予定は令和8年6月15日です。  
なお、注意報等の臨時情報は逐次発行されます。

・県内で栽培される主要な農作物に発生する病害虫や雑草を  
防除するための指針が千葉県HPで公開されています。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/annou/shokubo/bojoshishin.html>

・薬剤の選定については、最新の農薬登録情報を確認してください。

<https://pesticide.maff.go.jp/>

問合せ先

千葉県農林総合研究センター病害虫防除課

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180番地1

TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail [cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp)

